

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立 本城小学校

1 学校教育目標

「たくましく 心豊かな 子どもの育成」～ 夢と希望を笑顔で語る子どもたち ～

2 本年度の重点化された具体的な目標

【徳育】心の教育，規範意識の醸成及びあいさつの実践
【知育】具体的な学力向上策の実践，チャレンジタイムの有効活用と家庭教育の充実
【体育】体力向上と基本的生活習慣の定着

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
学校運営	学校は子どもにとって楽しく、生き生きとした居場所になっている。	保護者 肯定的評価 94. 6%	A	健全な育成を図るために、望ましい人間関係づくりが推進できるような教育活動を展開していく。
学校運営	楽しく有意義な学校行事が行われている。	保護者 肯定的評価 95. 5%	A	年間の行事のバランスを取ると共に、限られた時間の中で、その内容をさらに充実させていく。
学習指導	教師は、楽しく分かりやすい授業になるよう努めている。	保護者 肯定的評価 86. 3%	B	継続的に学習指導の研修を深める。また、教科担任制や少人数指導など、指導方法の工夫を図っていく。
学習指導	話の聞き方や発表など、学習ルールが守られた授業が行われている。	保護者 肯定的評価 82. 1%	B	全校統一の学習・生活のルールを職員も児童も意識の教科を図る。
家庭 地域連携	我が子は、家庭や地域でもよくあいさつしている。	保護者 肯定的評価 77. 0%	B	児童が主体となるような活動を取り入れたり、自己評価による振り返りを行ったり、具体的な自分の姿がわかるようにする。
家庭 地域連携	我が子は、きまりを守り、気持ちよく集団生活をしている。	保護者 肯定的評価 90. 7%	A	根気強い取り組みの継続と、家庭との連携強化を図るための発信を進める。

4 自己評価の結果の分析

本年度の自己評価結果を見ると、学校運営に関する項目では、「学校は子どもにとって楽しく、生き生きとした居場所になっている」(94. 6%)、「楽しく有意義な学校行事が行われている」(95. 5%)と、いずれも非常に高い肯定的評価を得ており、取り組み状況もA評価であった。日常の学級経営や行事の精選・充実を図ってきた取組が、子どもたちの安心感や充実感につながり、保護者の信頼を得ている結果と考えられる。学校全体として、子どもの居場所づくりと教育活動の質の向上が着実に進んでいることがうかがえる。

一方、学習指導に関する項目では、「楽しく分かりやすい授業」(86. 3%)、「学習ルールが守られた授業」(82. 1%)と、一定の評価は得ているものの、いずれもB評価にとどまった。学校運営面に比べると、授業の質や学習規律の定着については、さらなる改善の余地があることが明らかとなった。今後は校内研修の充実や指導方法の工夫、統一した学習ルールの徹底などを通して、学びの質の向上と主体的に学ぶ態度の育成を一層推進する必要がある。

家庭・地域連携においては、「あいさつ」に関する項目が77. 0%と他項目に比べて低いものの、昨年度より8. 1%向上しており、改善傾向が見られる。一方、「きまりを守り、気持ちよく集団生活をしている」は90. 7%と高い評価であり、日常の生活指導の積み重ねが成果として表れていると考えられる。今後は、児童が主体的に取り組む活動や振り返りの充実を図るとともに、家庭との連携をより一層強化することが重要である。

総じて、本校の教育活動は学校運営や生活面において高い評価を得ており、安定した基盤の上に成り立っているといえる。その一方で、学習指導の質の向上と学習規律のさらなる定着が今後の重点課題である。引き続き、組織的・継続的な改善を図りながら、子ども一人一人が安心して学び、確かな力を身に付ける学校づくりを推進していく。